

【参考】仙台都市圏高速環状ネットワーク

今年3月27日の仙台北部道路開通により仙台都市圏高速環状ネットワークが完成しました。また、10月22日の利府JCTフル化により仙台北部道路から三陸縦貫自動車道（石巻方面）との相互交通が可能となり、自動車専用道路の利便性向上が進んできております。



仙台都市圏高速環状ネットワークの整備効果例

○物流の効率化

- ・大衡ICの完成により、近接する仙台北部中核工業団地群と東北自動車道が直結され、東北の中核空港である仙台空港や特定重要港湾である仙台塩釜港などの物流拠点へのアクセスが向上します。

■所要時間の短縮(仙台北部工業団地～仙台塩釜港)

大衡ICの開通により、大衡IC周辺の工業団地群から仙台塩釜港までの旅行時間が約6分短縮します。



■仙台塩釜港の取扱貨物量は年々上昇

H22のコンテナ取扱量は20万TEUを超える見込み

*TEU：20ftコンテナを1単位として、港湾が取り扱う貨物量を表す単位



■仙台塩釜港の完成自動車取扱量は約9割

東北地方の主要港との比較 (H20)



【参考】環境に配慮した取組み(東北道初のECOインター)

大衡ICでは、CO₂削減のため下記省エネ照明等設備を導入しています。
これにより、照明等で消費する電気量を約1割削減することができます。

ECO電気設備

低消費電力のランプや、LEDを使用した省エネ電気設備を使用しています。

セラミックメタル
ハライドランプ



道路照明

トールゲート軒先照明



LED使用

地下
通路照明



車線標示板

信号灯



ECO料金所

断熱建材、省エネ機器を使用しています。

断熱材裏打
金属系
サイディング材



LED室内照明